

2022年度 G制度について

1、決定期間

2021年9月第1回G制度からスタートし、2022年6月に国体選手を選出する。

2、決定の流れ

強化選手は第3回G制度(2022年6月)からの参加になる。準強化選手は第1回G制度(2021年9月:コロナのため中止)、第2回G制度(2022年4月)に参加し、選考に通ることで第3回G制度に参加できる。選考は第6回まで行われ、国体代表選手を決定していく。

3、強化選手について

強化選手とは次のどれかに該当する者のことを言う。

- ・2020年、2021年度 春季総体、夏季県民、秋季総体、インドアダブルス、インドアシングルス、2022年度春季総体において1度でもB4以上に入った者。
- ・過去に国体候補選手に選ばれた者
- ・強化部より強化選手として推薦された者。

4、準強化選手について

準強化選手とは次のどれかに該当する者のことを言う。

- ・2021年度 春季総体、夏季県民、秋季総体、インドアダブルスにおいて1度でもB8以上B4未満になった者。
(*インドアシングルスについては、強化選手のみ選出である)
- ・第1回G制度(2021年9月)でB4以上になった高校1、2年生。:中止
- ・強化部より準強化選手として推薦された者。

5. 国体選手決定までの詳細

★第1回G制度(2021年9月中旬日曜日):中止

*参加対象:

- 2021年度春季総体B64以上B4未満もしくは夏季県民大会でB32以上B4未満の選手で、次年度の国体選手になる意思がある者。(強化選手は、この選考会は対象外)
- 中学3年生で中体連から推薦されたペア(3ペア程度)。ただし、都道府県選抜選手は除く。
- 強化部から推薦された者

- *リーグもしくはトーナメントでの試合形式による選考を行う。
- *必ずペアでの申し込みとする。同じ学校内に資格のある選手がいない場合は、同じ学校内で春 B64 未満夏 B32 未満の者とペアを組んでも良い。
- *この選考会での 1 位は第 3 回 G 制度（2020 年 6 月初旬）に参加できる。
[1 位になった者は第 3 回 G 制度に参加できるが、強化選手に認定はされない]
- *この選考会で、B4 以上 1 位未満に入った高校 1、2 年生は、第 2 回 G 制度（2021 年 4 月）に参加できる。ただし、中学 3 年生は該当しない。

★第 2 回 G 制度（2022 年 4 月上旬予定）

***参加対象：**

- 高校準強化選手ペア（次のどれかに該当する者）
 - ・2021 年度 春季総体、夏季県民、秋季総体、インドアダブルスにおいて 1 度でも B8 以上 B4 未満になった者。
 - ・第 1 回 G 制度（2021 年 9 月）で B4 以上になった高校 2、3 年生。（1 位は除く）→中止のため該当者なし
- 中体連から推薦された新中学 3 年生ペア（4 ペア程度）

*ペアでの参加とする。高校でペアが組めない場合は、当該高校の中で準強化選手とそうでない選手が組むことも可能とする。その場合は、第 3 回 G 制度（6 月）に出場しない選手と組むこととする。

*試合による選考。

*1 位になった者は、第 3 回 G 制度（6 月）に参加できる。

[1 位になった者は第 3 回 G 制度に参加できるが、強化選手に認定はされない]

★第 3 回 G 制度（2022 年 6 月第 2 土曜日予定）

***参加対象：**

- 強化選手（次のどれかに該当する者）
 - ・2020 年、2021 年度 春季総体、夏季県民、秋季総体、インドアダブルス、2022 年度春季総体において 1 度でも B4 以上に入った者。
 - ・過去に国体候補選手に選ばれた者。
 - ・強化部より強化選手として推薦された者。
 - 第 1 回、もしくは第 2 回 G 制度で 1 位の者。
 - 中学時代に都道府県選抜に選ばれている高校 1 年生。
- *試合による選考。

★第4回G制度（2022年6月第2日曜日予定）

*参加対象：

○第3回G制度を通過した者

*試合による選考

★第5回G制度（2022年6月第3土曜日予定）

*参加対象：

○第4回G制度を通過した者

*ダブルスの試合による選考

★第6回G制度（2022年6月第3日曜日予定）

*参加対象：

○第4回G制度を通過した者。

○インドアシングルスでの強化選手。

・2020年度、もしくは2021年度シングルス本戦でB4以上になったことのある者。

*シングルの試合による選考

◎第5回、第6回を総合的に評価し、国体選手を選出する。

◎春季、夏季、秋季、インドアダブルスの試合で複数回優勝している選手については、強化部で協議のうえ上記の選考会に出場することなく、国体候補選手として選出する場合がある。

◎近畿、インターハイ、全中で上位に入った者は強化部で協議のうえ国体候補選手になることがある。

◎STEP選考も兼ねることとする。(国体選考上位者がSTEPに参加してもらう)